

第1・2学年 生活科学学習指導案

日 時 令和2年10月26日(月)第5校時

場 所 低学年フロア

指導者 徳永 千聖

1 単元名 もっと しりたい つたえたい ただみ

2 単元の目標

まち探検やキャンプ場での散策、ダムで働いている方へのインタビューを通して、自分たちの住む只見町のすてきな自然や人々について考えることができ、その豊かさやあたたかさなどがわかり、只見に対しての親しみや愛着をもつことができるようにする。

3 単元について

(1) 児童の姿 (男子：1年3名，2年2名 女子：1年4名，2年0名 計9名)

1・2年生ともに生活科の学習への興味・関心が高く、意欲的に学習している。1年生は、虫や自然とかかわることが好きな児童が多く、積極的に虫を捕まえたり、図鑑を使いながら虫について調べたりしている。2年生は、1年生の知らないことや初めて体験することを励まし、支えてくれる。昨年「みずであそぼう」の学習では、校庭にある小川でのダム造りに取り組み、今年自分たちで石の大きさを工夫しながらダムを造り上げることができた。田子倉湖散策では、モーターボートに乗り、田子倉湖の雄大な自然に触れることができた。その後、図画工作科の「すなやつちとなかよし」では、田子倉湖散策で見た田子倉湖やアイヨシの滝の様子を再現していた。1学期のまち探検では、見つけた場所やものを地図にまとめることで、只見には様々な場所やものがあることがわかり、自分たちの生活との関わりに気付いてきた。

また、5月に実施した「海洋教育アンケート」では、只見町と海が繋がっていると感じている児童はいたものの、どうしてそう思うのかを答えられる児童はいなかった。

(2) 単元のとらえ

本単元は、学習指導要領の内容(3)を受け、設定している。1学期のまち探検で見つけた場所をもう一度訪ね、自然と触れ合うだけでなく地域の人々との関わりをもつことで、さらに只見の自然の豊かさや人々の温かさを実感できるようにすることがねらいである。

また、1学期に学校の周りの散策やまち探検で堀や川、用水路などを見て、田畑へ水が流れていることや只見川とつながっていることに気付くことができた。そこで2学期は、ブナセンター見学などから、只見に豊かな自然と多様な動植物が生息しているのは、きれいな水が関わっているということに気付けるようにしたい。2年生は、昨年の生活科の学習から川の流れやダムなどに興味をもっている。只見のダムを知りたいという2年生の思いからJ-POWERの方から話を聞き、学習を進めたい。まち探検で見つけてきた只見のことを表現作品にまとめ、そこでお世話になった人々とのつながりを大切にすることにより、只見に親しみや愛着をもつことができるようにしたいと考える。

(3) 教師のねがい

本単元では、自分が生活している只見には、水という大切な資源が身近にあり、それによって豊かな自然、多様な動植物が支えられていることに気付けるようにしたいと考える。また、只見町の一員として地域で生活していること、地域の人々の温かさにも気付けるようにしたい。

これまでのまち探検では、草笛を作って遊んだり、生き物をじっくり観察したり、川の流れや水害の後を見たりしながら、只見を見て、感じる機会を大切にしてきた。

2学期は、子ども達が興味・関心を示したブナセンター見学、キャンプ場での散策、J-POWERの方から話を聞く機会を作り、1学期の学びをより深めようと見学活動を進めてきた。

本時では、見学などでお世話になった方をゲストティーチャーとして招き、これまで見たり、体験したりしてきたことを発表する。各グループで表現作品を使って発表したり、発表を聞いてくれた人から感想を聞いたりする中で、人々と関わり、伝え合うことの楽しさや地域への親しみ、愛着をもたせたい。

4 指導計画と評価規準（総時間15時間 本時 15/15）

次	主な学習内容	時数	評価規準及び評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> 1学期のまち探検を想起し、詳しく調べたいことや改めて探検したい場所を決める。 	1	ア 地図を見ながら話し合い、詳しく調べたいことや聞きたいことを考えることで目的を持ち、見学学習ができる。 (観察)
	<ul style="list-style-type: none"> 見学へ出かけ、わかったことをまとめる。 ①ブナセンター 	3	ア ブナセンターを見学してわかったことなどを絵や文にまとめ、共有することで、只見の豊かな自然と多様な動植物に気付くことができる。 (観察・発言)
	<ul style="list-style-type: none"> 見学へ出かけ、わかったことをまとめる。 ②キャンプ場散策 	3	ア キャンプ場散策をしてわかったことなどを絵や文にまとめ、共有することで、只見の豊かな自然と多様な動植物に気付いたり、秋を感じたりすることができる。 (観察・発言)
	<ul style="list-style-type: none"> ゲストティーチャーから話を聞き、わかったことをまとめる。 ③J-POWER 田子倉電力所 	3	ア J-POWER 田子倉電力所の方の話を聞き、わかったことなどを絵や文にまとめ、共有することで、只見にあるダムの特徴や暮らしを支えていることに気付くことができる。 (観察・発言)
	<ul style="list-style-type: none"> 見学してわかったこと、気付いたことを話し合い、グループごと表現作品を作ったり、まとめたりする。 	4	イ 詳しく調べたことについて、ポスターや作品などに表現し、まとめることができる。 (観察)
	<ul style="list-style-type: none"> ゲストティーチャーや保護者を招き、見つけてきた只見のすてきな自然や場所を伝え合い、気付いたことをまとめることで只見の自然や人々のよさを見つける。 	1 本時	ウ わかったことを伝え合う活動を通して、只見に親しみや愛着をもつことができる。 (観察・ワークシート)

〈評価の観点〉

ア 知識・技能

イ 思考力、判断力、表現力等

ウ 主体的に取り組む態度

5 4つの視点から見た他教科との関連（A知識の深化 B技能の活用 C価値の醸成 D行動の変容）

関連場面	教科等	単元	内容と視点との関連
第1次	図画工作科	すなとつちとなかよし（1年）	C 砂と土と体全体で関わることで良さを感じ取ることができ、実際に見てきたダムや滝を再現する活動などにもつながる。
	道徳科	大すき、わたしの町（1年） しぜんのいのち（2年）	B C 只見の自然の豊かさ、只見の好きなところを出し合う中で、そのよさに気付く、郷土への愛着を深め、親しみをもって生活しようという心情を育てる。

6 研究にせまるための本時の手立てについて

(1) 研究内容①「地域の特色を生かす素材の教材化」

見学やインタビューでお世話になったゲストティーチャーや保護者の方々に、児童の発表に対して、「伝わってきた自然の豊かさや人々のあたたかさ」といった視点で称賛していただく。また、ゲストティーチャーには児童の発表の補足説明もしていただく。そうすることにより、自分たちの気付いた只見のよさをより強く実感したり、新たな只見のよさに気付いたりし、只見に親しみや愛着をもつことができるようにする。(手立て1)

7 本時について

(1) 目標

まち探検を通して気付いたことを友達や地域の人に伝え合うことを通して、さらに只見に親しみや愛着をもつことができる。

(2) 展開

	学習活動・内容	時間	○指導上の留意点	評価
つかむ	1 前時までを振り返り、本時のめあてをたてる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ただみのよいところをたくさんみつけよう！ </div> 2 ゲストティーチャーを紹介する。	5	○ まち探検で見えてきた場所や前時までの発表作品作りを振り返り、今日のめあてを確認する。 ○ お世話になったゲストティーチャーに発表を聞いてもらうことで、伝えたいという思いを高める。	
さぐる・ふかめる	3 グループごとにまとめたこと、作ったものを発表し、ゲストティーチャーから感想や補足説明をいただく。 ・自然グループ →ブナセンター太田さんからの感想 ・生き物グループ →ブナセンター太田さんからの感想 ・ダムグループ →J-POWER 吉津さんからの感想	30	○ ゲストティーチャーや保護者の方々に伝わってきた只見のよさという視点で子供たちの発表を称賛してもらうことで、自然の豊かさや人々のあたたかさを実感し、さらに只見に親しみや愛着を持つことができるようにする。 (手立て1) ○ 各グループの発表後にゲストティーチャーからの話を聞くことで、只見にはさらによいところがあることを実感することができるようにする。	
ひろめる	4 伝え合う活動を通して、分かったこと、気付いたことや感じたことをワークシートにまとめる。	10	○ 友達の発表やゲストティーチャーの話を聞いて、気付いたことや感じたことをワークシートにまとめることで、只見のよいところを実感できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> わかったことを伝え合う活動を通して、只見に親しみや愛着をもつことができる。 (観察・ワークシート) </div>	